

【特集】第34回国際労働問題シンポジウム： COVID-19危機からの持続可能な回復と技能 開発：Reskilling / Upskilling：特集に あたって

FUJIWARA, Chisa / 藤原, 千沙

(出版者 / Publisher)

法政大学大原社会問題研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

大原社会問題研究所雑誌 / Journal of Ohara Institute for Social Research

(巻 / Volume)

763

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

2

(発行年 / Year)

2022-05

【特集】第34回国際労働問題シンポジウム

COVID-19 危機からの持続可能な回復と技能開発

—Reskilling / Upskilling

特集にあたって

本特集は、ILO 駐日事務所と共催で開催した第34回国際労働問題シンポジウムの記録である。2021年の第109回ILO総会は、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）の世界的な広がりを受けて、第1部（6月）と第2部（11月～12月）に分けてヴァーチャル形式で開催された。第1部では「新型コロナウイルス危機からの人間を中心に据えた回復のための包摂的かつ持続可能で強靱な行動に対する世界的呼びかけに関する決議文書」が採択され、第2部では「不平等と仕事の世界」「技能と生涯学習」の二つの一般討議が行われた。本シンポジウムは第2部の開催前であったが、第109回ILO総会のテーマを踏まえて、人々がスキルを獲得して更新して向上していく学び—Reskilling / Upskilling を考える機会とした。ILO ジュネーブ本部からは、本シンポジウムに向けての基調講演（ビデオメッセージ）が届き、研究の立場からと実践の立場からの二つの報告に加えて、ILO総会に出席する政労使からコメントを頂戴した。昨年に続いてオンライン上ではあったが、94件の端末とつながり全国の参加者に発信した。後援していただいた日本ILO協議会と関係各位に感謝したい。

（藤原千沙）

第34回国際労働問題シンポジウム

COVID-19 危機からの持続可能な回復と技能開発—Reskilling / Upskilling

主催 法政大学大原社会問題研究所／ILO 駐日事務所

後援 日本ILO協議会

日時 2021年10月14日（木）13時～15時

方法 オンライン（Zoom ウェビナー）

プログラム

主催者挨拶 高崎真一（ILO 駐日代表）／鈴木玲（法政大学大原社会問題研究所所長）

基調講演（ビデオメッセージ） スリニバス・B・レディー（ILO ジュネーブ本部 雇用政策局 技能・就業能力部長）

「《Reskilling / Upskilling》を「人間中心的」に理解する—研究者の立場から」
筒井美紀（法政大学キャリアデザイン学部教授）

「地域の需要と人間を中心とした技能開発—実践の立場から」
佐々木妙月（情報の輪サービス株式会社代表取締役、NPO 法人 ZUTTO 理事）

ILO 総会出席者コメント

「政府の立場から」 内野智裕（厚生労働省人材開発統括官付海外協力室 海外協力交渉専門官）

「労働者の立場から」 郷野晶子（ILO 労働者側理事・連合参与）

「使用者の立場から」 田中恒行（日本経済団体連合会 労働法制本部統括主幹）

ディスカッション

（司会：鈴木宗徳（法政大学大原社会問題研究所副所長／社会学部教授））

（注）肩書は2021年10月現在

COVID-19 危機からの 持続可能な回復と技能開発 —Reskilling / Upskilling

主催：法政大学大原社会問題研究所 / ILO 駐日事務所 後援：日本ILO協議会

2021年6月、ILO史上初のバーチャル形式で行われた第109回ILO総会では、COVID-19 危機によって拡大する不平等に取り組み、持続可能な回復のための行動を呼びかける決議が全会一致で採択されました。この合意文書は、2019年「仕事の未来に向けたILO創設100周年記念宣言」で提唱された人間中心のアプローチを基盤としています。

COVID-19危機は、あらゆる労働者と使用者に大きな影響を及ぼしましたが、産業部門による違いや、人々の長期的な生計を脅かした程度は異なり、不平等の悪化が懸念されています。人々がスキル (skills) を獲得し、更新し、向上していく「Reskilling/Upskilling」は、新しい仕事に就いたり、急速に変化する労働環境に適応していくために重要です。またスキルを獲得する学習 (learning) の過程は、学ぶ喜びや人々のつながりを通して、社会的連帯や信頼が強まり、持続可能な回復につながります。

2021年11月～12月に行われる総会の第二部では、「不平等と仕事の世界」[技能と生涯学習]が討議されます。本シンポジウムでは、スキル (skills) の獲得や向上は、単に競争に取り残されないためだけでなく、人間を中心に据えた持続可能な回復にとって重要なものであると捉え、技能開発と生涯学習に対する官民の投資が世界的に呼びかけられている状況を議論したいと思います。政労使はもちろん、学生、市民の皆様のご参加をお待ちしています。



太陽電池パネルの設置とメンテナンス技術の職業訓練を受ける農村女性 (バングラデシュ)



ロボティクス・メカトロニクス分野の公共職業訓練 (日本)



職業訓練センターのコンピュータークラスで学ぶ訓練生 (マダガスカル)



虫よけ蚊帳の生産：貧困地域の女性を雇用し訓練を行うソーシャルビジネス (ミャンマー)

©ILO

開催日時

2021年

10月14日 木

13時～15時

オンライン開催 (Zoomウェビナー)

参加無料・要参加申込み

プログラム

◆主催者挨拶

高崎 真一 (ILO 駐日代表)
鈴木 玲 (法政大学大原社会問題研究所 所長)

◆基調講演

「COVID-19 危機からの持続可能な回復と技能開発
—Reskilling/Upskilling」(ビデオメッセージ)
スリニバス・B・レディー
(ILO ジェネーブ本部 雇用政策局 技能・就業能力部長)

◆研究者の立場から

筒井 美紀
(法政大学キャリアデザイン学部 教授)

◆実践の立場から

佐々木 妙月
(情報の輪サービス株式会社 代表取締役、NPO 法人 ZUTTO 理事)

◆ILO 総会出席者コメント

◆ディスカッション

司会：鈴木 宗徳
(法政大学大原社会問題研究所 副所長 / 社会学部 教授)



参加申込み 10月12日 (火) 17時 締切

左記コードのフォーマットより、お名前とメールアドレスを送信してください。
会議IDとパスワードは、10月13日 (水) にお申込みメールアドレスにお知らせします。

法政大学大原社会問題研究所

◆HP: <https://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/> ◆Twitter: @oisr1919

ILO 駐日事務所

◆HP: <http://www.ilo.org/tokyo/> ◆Twitter: @ILO_Tokyo